

【食品部会】

環境保全型・ おいしいメーカーさんを支援

担当メンバー

五月女盛一（副会長）、竹並一人（幹事役員）、
川崎孝文（副会長・らでいっしゅぼーや商品部
次長）、安原克彦（同商品一課長）

Radix 食品部会

農産部会に次ぐ大所帯の食品部会は、広範なカテゴリーからなるメーカーの皆さんの集まりです。大きくは食品加工と水産・水産加工に分かれ、共通の基礎となる品質管理から、個々のテーマへの掘り下げと、相互の情報共有の活性化に向け、4月の第1回部会開催からスタートしました。

1. 技術向上と相互交流の両軸で

……部会運営

■**食品部会、分科会の開催**：第1回の食品部会では、らでいっしゅぼーや商品一課課長・安原克彦さんの提案をもとにした活動計画の討議が行なわれました。技術向上の面では衛生技術講習会の開催や、養殖研究会の発足等を軸に、相互交流の面ではらでいっしゅぼーや会員さんとの交流や、「スローフード」をテーマとした活動などが話されました。分科会については、今後各カテゴリーの状況をうかがいながら、必要に応じたテーマ別、カテゴリー別に開催していく予定です。

2. 基本中の基本

……技術向上のための活動

■**衛生技術講習会の開催**：部会共通のテーマである「品質管理」。この必要不可欠な課題について、らでいっしゅぼーや（株）品質保証課顧問の大野隆司さん（ICF技術総合研究所代表）をお招きし、第1回の衛生技術講習会を、会員である東京ゴールドチェーン（神奈川県川崎市）さんのご協力をいただいて開催しました。

開催の目的は、欠点の指摘ではなく、あくまでも衛生管理についての基本的な考え方の共有や、改善へのわかりやすいアプローチが主体。わ

かりやすい指導に参加者の共感もいただきました。

この講習会は関西、九州、東北（北海道）を合わせ年内計4回開催の予定です。

3. 環境保全型養殖の研究

……研究調査等

■**養殖研究会**：らでいっしゅぼーやでは以前より「環境保全型養殖」に着目し、これまでいくつかの研究・実践を進めてきた経緯があります。現在もRadix会員の参加により販売活動を進めています。

これらのノウハウを再度とりまとめ、「環境保全型養殖」の今後に向けた提案を、Radixの会・らでいっしゅぼーや共同で進めていくことが討議されました。今期はこのための準備段階として、必要な基礎調査や方向性のとりまとめを進めます。

4. 皆さんの積極的なご参加を！

……補助支援等

■**衛生検査斡旋等補助**：O-157、サルモネラなど、日を増して細心の注意が要求される食品加工。これは無添加食品であっても逃れることはできません。会ではらでいっしゅぼーやと共同で、会員の皆さんが自主的にこなっている衛生検査などについて、

会で取りまとめ検査会社と契約を行わない、各種検査出費の負担を軽減するための仕組み作りを進めていく予定です。

■**会員交流補助**：Radixの会ができることは、らでいっしゅぼーや会員の皆様によりよい品物をお届けすることのほかにもたくさんあります。生産・製造している人ならではの料理を紹介したり、「顔の見える関係」をより一歩進めて、様々なイベントに協力したり、ソフト面の充実も大切なことです。今期はこうした点も充実させていこうと考えています。

■**スローフード関連補助**：最近耳にする「スローフード」という言葉。イタリアの田舎町で始まった消費者のささやかな運動です。ファストフードに象徴される現代人の食生活に、ゆっくりと、ゆったりと「食」を大切にしていこう、という活動。「①伝統の食を大切にしよう」「②小さな生産者を大切にしよう」「③子どもたちに本当の味を伝えよう」という3つの活動テーマに基づいて進められています。Radixの会では今期、食品部会を中心に「つくる人のスローフード」の活動に取り組んでいきます。ぜひ皆さんの積極的なご参加をお願いします。

■**Non-GMO認証補助**：昨年に引き続き、非遺伝子組み換え穀物の認証取得のための助成を行ないます。